



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第9回 通算1217回 平成23年9月6日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	8/20 修正出席率
		56名	33名	63.5%	93.5%

ゲスト：JA愛知中央会 担い手対策部長 水野英明氏 ビジター：(なし)

会長あいさつ



山城康司会長

こんにちは。台風12号は逗留時間が長く、和歌山県、奈良県、三重県では大変な被害が出ています。幸いに、

この地域は大きな被害はありませんでした。

9月4日に東京目黒で第16回目黒のさんま祭りが開催されました。用意された三陸沖のさんま6千匹に徳島県すだちを添えて提供されました。毎年さんまを無償提供してきた岩手県宮古市が東日本大震災で被災し、一時は開催が危ぶまれたが、お盆直前に製氷工場が仮復旧して準備を整えた。会場に訪れた山本正徳・宮古市長は「皆さんとの絆を断たぬよう、さんまを届けることを目標に頑張ってきました」とのことです。各所に募金箱を設置されたそうです。

先週の土曜日に地区新世代サミットがあり出席して参りました。インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換事業の活動報告がありました。

幹事報告

滝下 勲幹事

理事会報告
次回例会について
ガバナー公式訪問合同例会について

委員会報告

笠原盛泰会員
9月24日25日に豊川で、「中日本・東海B-1グランプリ」が開催されます。



新入会員の入会式

(株)松栄管工 代表取締役 浅野 晋さん

新入会員の紹介 大島嗣雄会員

新入会員の浅野晋君です。皆さんご存知のバスター会長の浅野桂さんのご子息です。浅野君との出会いは、私が2000年にJCの理事長をした時にJCに入会されてきました。入会当時、一筋通った男だなという印象でした。JCの中では、しっかりとそれぞれの立場の仕事がされ、2008年に第49代理理事長を務められました。翌年には“とうかい号”にも乗られ、1000人ぐらいの人たちを取りまとめる仕事もされる、お父様と同じような方、素晴らしい人物です。どうぞよろしくお祈りします。

バッジの贈呈

会長よりローターバッジが贈られました。



歓迎の言葉

高桑 R 情報委員長

浅野晋君ご入会おめでとうございます。ロータリークラブは、1905年に創立し、日本は1920年に誕生しました。世界に120万人の会員、日本は9万人の会員がいます。今日から120万人の仲間の一人となりました。お父様は、創立年翌年に入会され25年間、クラブの発展にご尽力頂きました。晋君もお父さん同様に豊川宝飯RCの発展に頑張ってください。これから是非頑張ってください。

新入会員あいさつ

浅野 晋会員



こんにちは。浅野です。前年度までは、私の父、弊社の会長が大変皆様にお世話になっておりました。昨年の4

月に代表取締役となり、一年経ちまして、今回、ロータリークラブにも入会させて頂きました。会員の皆さんは、公私共に大変お世話になっている方々ばかりです。今後ともご指導ご鞭撻を頂きまして、精一杯努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

外部講師の卓話

「食の安全安心について」

J A 愛知中央会 水野英明氏



こんにちは。先程の食事の時に皆さん揃って「いただきます」と言われました。この「いた

いただきます」の意味を皆さんご存知でしょうか。食べ物には、それぞれ命がある訳です。本日の食事ですと、豚肉、卵、お米、玉葱、それぞれ命があった訳で、我々がその命を食べると言うことで、日本人は「いただきます」と

言っています。これが本当かどうかはわかりませんが、JA中央会の先輩から教わった思い出があります。人間は食べなければ生きていけないという状況の中で、柴田組合長より、放射能汚染が広まっている中で、それぞれ皆さん色々な形で心配されているので食の安全について話をということでした。私も専門化ではありませんので、知り得る情報はお伝えをさせて頂きます。

まず、安全と安心は全然違っていて、安全ということが本当に信用できるのかどうか、自分たちが安心できるような形で食べ物を食べて頂くことが必要です。西洋人と日本人と考え方が違うと言われております。西洋人は、安全でないということが証明されない限り安全であるという考え方。日本人は、安全ということが証明されない限り安全ではないという考え方です。日本人の場合、安全に行き着くまでにはテストを何回もするので時間が掛かります。

3月11日に発生した東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所事故によってもたらされた農畜産物の放射能物質汚染の問題は、最初に福島県と茨城県のハウレンソウからヨウ素が検出されました。今まで暫定規制値はなかったのですが、原発事故により暫定規制値を設けられました。放射能物質で汚染された食品が出回らないように販売を規制するため、食品衛生法と言う法律により設けた基準です。暫定許容値は、農水省が食品衛生法の暫定規制値を越えない農畜産物を生産するための判断の目安として設定した基準です。ですが、これは法律に基づいた行政指導の基準になります。隣の静岡県や長野県を含む17都県は放射能物資の汚染の可能性があるので、厳しい規制になっています。最初はハウレンソウでしたが、静岡のお茶、そして米からも微量ですがセシウムが検出されています。放射性ヨウ素、放射性セシウム、ウラン、プルトニウム及び超ウラン元素のアルファ核種など、飲料水、牛乳・乳製品、野菜類、穀類、肉、卵、魚、乳幼児食品などの食品中の暫定規制値が制定されました。ヨウ素の問題は最近話題になりません。ヨウ素の半減期は8日間なので、ヨウ素が検出されても日にちが経つとなくなります。セシウムについては、半減期が30年と言われています。30年経っても半分にはなりません。ただ、食べても体の中に蓄積せず、放出されますの

で、30年経って半減よりは少なくなっています。ヨウ素は喉の病気になると言われていましたが、どうなるのかわかりません。セシウムの問題も、田んぼだけではなく、畑も山もです。山の枯れた葉っぱ等を使って培養土にする訳ですから、当然セシウムが検出されることになってきます。

農畜産物などの放射性物質の検出、出荷制限に関わる主要な政府、自治体、農業団体等の動きを簡単に説明します。3月17日に厚生労働省が暫定基準値を定めました。(4月5日に魚介類の放射性ヨウ素の基準値が追加)3月20日にJAグループは、国や東京電力が農家に万全な補償をするように要請しました。3月21日に原乳やホウレンソウの出荷制限が始まりました。4月4日に茨城県沖で採れたコウナゴから検出され漁の操業を自粛。5月12日に茶葉から検出。7月8日に稲わらを食べさせた肉牛の牛肉からセシウムが検出され、全国16道県に稲わらが給与されていることがわかり問題となりましたが、愛知県は問題となった稲わらは食べさせていなかたので、愛知県の牛は基本的には大丈夫でした。ですから牛肉をどんどん食べて頂きたいと思えます。よく、豚肉や鶏肉について質問されますが、豚や鶏は稲わらを食べません。とうもろこし等の農耕飼料を食べますので、セシウムの問題はありません。8月3日には、米の放射能物質の調査と出荷制限ルールを公表しました。愛知県は入っていませんが、隣県でセシウムが検出されれば検査を実施することになっています。ですが、8月16日に愛知県産「あきたこまち」が初出荷されましたが、事前に愛知経済連で独自に検査を実施もしてセシウムは検証されておりません。茨城県や福島県の新米からも微量のセシウムが検出されましたが、暫定基準値以下ですので出荷制限はありません。また、牛肉も全頭検査をすると発表がありました。ダメなものは流通しません。流通しているものは安全なものですから、安心して食べて頂きたいです。8月25日に岩手、福島、栃木の肉牛の出荷制限がようやく解除されました。

JAグループ愛知は、国、県に色々な形で要請をしています。困っているのは農家だけではありません。消費者の皆さんも同じように困ってきます。国の主体的責任でもって、農家や消費者の不安を払拭、安全で安心な農畜産物の生産・流通を確保することを内容と

した緊急要請を8月5日に行っております。

最後に、TPPに関するJAグループの考えについてお話をさせていただきます。今回の震災で農林水産業が地域経済・社会を支えている地域に甚大な被害が出ており、その復旧・復興には相当な期間と国の総力を挙げた努力が必要です。経済界やマスコミの一部からは、復興のためにもTPPの早期参加が必要といわれる方も見えます。立場の違いもあると思えますので、PRのみさせていただきます。このTPPは農業や工業だけと思われる方もありますが、サービス、知的財産権、金融、政府調達、原産地規則、検疫、投資、環境、労働、混合医療などあることを知って頂きたいと思えます。一部の輸出拡大の経済メリットと引き換えに、わが国の仕組みや基準が一変し、私たちの将来のくらしに大きな影響が及ぼされる可能性があることを良くご理解頂き、考えて頂きたいと思えます。ご静聴ありがとうございました。

ニコニコボックス

水野英明様	お車代をニコボックスへ
夏目雅康会員	3人目の孫が生まれました
笠原盛泰会員	B-1 グランプリを開催
岩瀬靖宏会員	誕生日を祝って頂き
富田高子会員	〃
土井昌司会員	〃
林 博宣会員	〃
鈴木啓仁会員	事業所創業を祝って頂き
度会尚志会員	〃

クラブ目標達成状況

会員増強・・・・・・・・・・純増1名
R財団寄付一人当たり寄付・・・\$10

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。